

# TaKeFu SSH NEWS



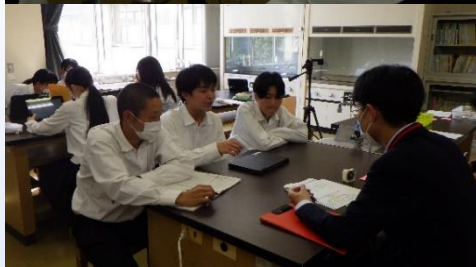
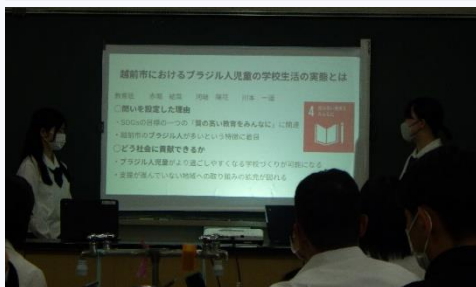
福井県立武生高等学校  
SSH 研究推進部  
2023 年 6 月 6 日 発行

SSH NEWS No.03

## 03 2年探究科「問い・検証方法」発表会

### 「問い・検証方法」発表会

5月10日(水)に2年探究文科「人文社会探究Ⅰ」で、5月11日(木)に2年探究理科「自然科学探究Ⅰ」で、「問い・検証方法」発表会を行いました。発表会では、生徒たちがこれから2年間をかけて取り組む研究の「問い」および問いに答えるための「検証方法」をお互いに紹介しました。



### 2年探究文科「人文社会探究Ⅰ」

5/10(水)5・6限目に第2化学実験室において、発表会が行われました。生徒たちはそれぞれ9グループにわかれ、「テーマ」(問い)「このテーマを決定した理由・動機」「調査方法」を発表後、活発な質疑応答が行われました。質問は生徒だけではなく、教員からも鋭い意見が飛び出し、発表者である生徒たちにとってはよい「気づき」がうまれたのではないのでしょうか。各グループの発表後には、講師としてお招きした仁愛大学准教授・高野秀晴先生から各グループに個別にアドバイスをいただく時間が設けられました。高野先生からは「着眼点が大変おもしろい。また、研究の意義も深く、今後が楽しみである。言葉の定義、例えば『活性化』とは何をもって活性化なのか、考えておくと良い。」と助言を頂きました。

### 2年探究理科「自然科学探究Ⅰ」

5/11(木)5・6限目に第1AV室において、計13グループによる発表会が行われました。問いの設定の動機から、実験方法の詳細まで、現時点で想定できる限りの内容を発表していました。講師としてお招きした仁愛大学教授・西出和彦先生からは、実験方法の詳細な助言だけでなく、「自分の研究に対しては、いろんな視点で考えるのは案外難しい。だからこそ、この発表会を通して得られる他者の視点はとても重要。発表者と質問者でどんどんディスカッションを深めてほしい。」とアドバイスをいただきました。このアドバイスによって、生徒同士での活発な意見交換が行われるようになり、質問内容も多角的な思考をもとに発せられるものとなりました。発表者にとっても大きな財産となったのではないのでしょうか。

